

令和4年度 前期学校評価考察

文責 教頭 笹本 信仁

はじめに

本校では、これまで長年にわたり【やる気・元気・根気・勇気・思いやり】の「五本の木」が校訓として受け継がれてきている。この校訓を受けて、「学びを深め、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、学校長をリーダーに全職員が一丸となって児童の育成に携わっている。また、白根東小学校の目指す児童像は、「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べることができる児童」である。さらに、小中一貫校の目指す児童生徒像「思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、未来を担う白根こっま子」も念頭に入れ、これらの目標を実現するために、教職員一人ひとりが日々の教育活動に取り組んでいる。

学校評価は、学校教育目標及び目指す児童像に対しての課題を検証し、成果を上げていくための指標とするものである。したがって、結果をしっかりと検証し、次につなげる貴重な機会であるにとらえ、そこから見えてくる・見つけられる事実としっかりと向き合っていく必要がある。

「A」（あてはまる）「B」（どちらかというにあてはまる）を肯定的意見、「C」（どちらかというにあてはまらない）「D」（あてはまらない）を否定的意見ととらえると、自己評価（教職員）は一項目を除いたすべての項目について肯定的評価が100%に達している。また、児童アンケートもほとんどの項目で90%を超えており、全体的にみておおむね満足できる状態であるといえるが、課題等もあるため、2学期以降の取組を進めていくことが大変重要なことである。

<自己評価における課題>

- ① No1「学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識して、教育活動を進めている」においては、A評価が72%・B評価が28%という結果である。校訓については児童会活動等でも多く使われ学校全体で定着していると考えている。教職員が同じ方向を目指して教育活動を進めていくためには、全教職員がさらに学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識し、様々な機会を通して進んでいく方向を確認ながら教育活動を進めていく必要がある。
- ② No2「マネジメントサイクル（PDCA）で、よりよいものに改善を図ろうとしている」においては、A評価が60%・B評価が40%という結果である。各種取組や行事等の後には必ずアンケート等を実施し、今後の活動に生かしている。それぞれのアンケート結果等を次につなげるようさらに意識し、PDCAサイクルを実行していく必要がある。
- ③ No3「他の教職員と連絡調整・コミュニケーションを図りながら（組織的・協働的に）教育活動にあたっている」においては、A評価が100%となっている。様々な活動や対応について教職員が共通理解を行い、同じ方向を向いていることはとても重要である。また、そのことが児童や保護者への信頼にもつながる。2学期以降も連絡調整・コミュニケーションを丁寧に行いながら教育活動を進めていきたい。

- ④ No.4「学校評価・一校一実践・一人一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き高めようとしている」とNo.7「関わり合い・高め合う子供たち」（校内研テーマ）を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている」の各項目において、A評価が57%・56%、B評価が43%・44%という結果である。

GIGA スクール構想2年目を迎える年である。教職員も使い方等の知識や技能を深め、一人一台端末利用による新しい学習スタイルも定着し、多くの授業で端末を利用している。持ち帰りでの使用も行っている。引き続き、効果的な利用について研究を深めていきたい。

引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として3密回避（密集・密接・密閉）のために、ソーシャルディスタンスをとっての机の配置やマスクの着用等継続されたままである。現在もグループ学習やペアトーク等の学習形態に制限が課せられ、対面的な児童相互の関わり合いが実践できない状況下である。今後も感染対策を講じながら、目指す児童像を念頭に置いて、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めなければならない。同時に、校内研究を含め、一人ひとりの教師が授業力をさらに高め、子供たちが「わかった」「楽しい」と感じられる授業を増やしていくことが、主体的な学習や学習の習慣化にも繋がるものと考えられる。

- ⑤ No.8「学校がきっかけをつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている」において、A評価・B評価がともに50%であり、課題と捉えている。No.6「基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている」（A評価95%）に表れているように、基礎基本の指導を徹底した授業を行っているが、宿題や自主勉強等を通しての家庭との連携がもう少し必要な気がする。家庭学習の一層の定着を図るためには、各家庭の協力を得ながら全教職員が継続的に取り組み、きっかけづくりを意識していくことが大切だと考える。2学期以降、「家庭学習の手引き」を基に、家庭学習についての充実を進めていきたい。

- ⑥ No.9「児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学年・集団づくりに努めている」とNo.11「生徒指導・特別支援の観点に立ち、児童特性に応じた（組織的な）指導に努めている」においては、A評価が95%・100%という結果である。教職員が一人一人の児童を理解し、それぞれの児童に応じた指導を心掛けながらルールとリレーションのある集団づくりを行っていることが理解できる。また、校内委員会やケース会議等を効果的に生かしてさらに児童理解を深めていくことも大切である。

- ⑦ No.12「小中一貫校として目指す児童生徒像を理解し、そのための取組や教育課程を理解して行っている」においては、A評価が22%・B評価が74%という結果である。今年度より、看板が『小中一貫校 南アルプス市立白根東小学校』となり、新たに小中一貫校としてスタートした。白根巨摩中学校を中心に、白根飯野小学校と3校で連携しながら教育活動を進めている。様々な取組等において、情報交換しながら歩調を合わせて行っている。3校合同の第1回小中一貫教育研究会が6月に開催された。また、先日（8月24日）は全体会・第2回研究会が行われ、2学期以降具体的な取組や活動がさらに行われていく。まずは教職員が小中一貫校としての理解を深め、9年間を通して児童生徒を育てているという意識をもつことが大切である。同時に各専門部の取組を確実に進めていくことも必要である。

- ⑧ No.13「保護者・地域との連携・協力を努めている。」のA評価は76%である。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中で、家庭訪問・授業参観を実施した。保護者との対面での懇談や授業を実際に見ていただくことはやはり意義のあることだと改めて感じた。また、学校日より、学年・学級通信、ホームページなどを使って情報発信をすることで、学校生活を保護者や地域の方に理解していただいている。今後も「開かれた学校」を念頭に入れ、保護者や地域の方々と連携を深め、「地域と共に育つ子供」【共育】を合言葉に連携を強化していきたい。

<児童アンケートにおける課題>

- ① No.1からNo.5では、校訓である「やる気」「元気」「根気」「勇気」「思いやり」について、子供たちが自己評価している。A評価の高い順に「元気」(77%)「思いやり」(71%)「勇気」(68%)「やる気」(67%)「根気」(66%)となっている。例年傾向は同じであるが、昨年度と比べるとA評価の数値が下がっている。「この場面では〇〇が必要だね。」「〇〇が身につけてきたね。」など、具体的に子供たちの学習や活動場面において「五本の木」を意識した評価をしていくことで、「五本の木」をイメージしやすくなるのではないかと考える。同時に、「5つの木」を伸ばせるような活動をさらに仕組んでいく必要がある。

一方、令和4年度の児童会スローガン「夢と笑顔の東っ子！大きくかがやけ五本の木」にあるように、児童会活動を通して「五本の木」が大きくなっていくことを活動目標に入れている。この校訓は子供たちの中にも定着し、本校の活動の大きな支柱になっている。教職員や保護者や友達同士の評価を通し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことも大切なことである。今後も、この校訓を通し、子供たちのさらなる成長を育てていきたい。

- ② No.6「学校が楽しいですか。」のCとD評価の合計が10%となっている。90%の児童は肯定的であるが、全校児童が白根東小学校に行きたくなるような学校づくりをさらに考えていく必要がある。今年度の学校経営方針にある「子どもも先生も職員も、不安がなく、明るく、楽しく、温かい気持ちで過ごせるような(また明日も東小に来たくなるような)安心して学べる楽しい学校」を目指し、皆で力を合わせてさらによい東小を創っていききたい。児童に寄り添いながら、今後も温かい学級づくりの充実に努め、一人ひとりに自分の居場所がある学校生活を創っていききたい。「できた」「分かった」を実感できる【授業づくり】を両輪にして、充実した学校生活を送れるようにしていきたい。

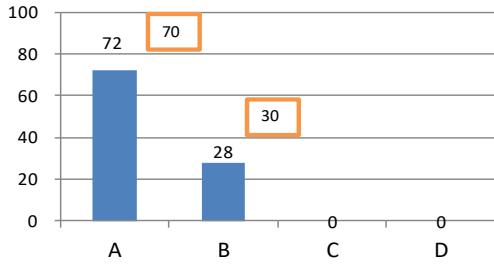
- ③ No.8「授業はわかりますか。」のA評価66%・B評価28%となっている一方、No.10「授業(勉強)でわからない時には、先生に聞いていますか。」においては、12%の児童がCとDの評価となっている。「わかる授業」づくりを一層進めていきながら、本校の目指す児童像「情報や考えなどを的確に理解し、判断の根拠や理由を明確に示しながら、自分の考えを述べることができる児童」を念頭に入れ、分からないところは聞ける力も身に着けさせる必要がある。同時に、一人一人に寄り添いながら丁寧な対応を今後も心掛けていきたい。

- ④ No.11「授業中に、手をあげたり自分の考えを言ったりしていますか。」の項目では、A評価は52%で、全項目の中で最も数値が低い。全体の場での発言に抵抗を感じている児童も22%いる。友達の考えを受け入れる姿勢や、安心して考えを伝え合える学級づくりをしていくことが課題であり、教職員の自己評価のNo.7の「関わり合い・高め合う授業」につなげていけるように取り組んでいきたい。また、発言場面を設定し、自信をつけさせていくことも大切である。継続した新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために、ペアトークやグループトークなどの発言の場が制限されていたことも考慮しなければならない。
- ⑤ No.13「学校での様子を、家の人に話していますか。」のA評価は69%でここ数年同じような割合であり、学年や個人によって違いはあるが、学校と保護者との情報共有という点からは気になるところである。No.14「家の人に、学校からの便りなどを渡していますか。」のA評価は84%で、ある程度の情報の共有は行われていると思われるが、家庭内で学校のことを話す機会を意図的に確保できるようにしたい。情報不足による「知らない」ということから様々な不安や心配事が発生しがちであるため、保護者や地域との連携に心して取り組んでいきたい。
- ⑥ No.12「学校や社会のきまりや約束事を守っていますか。」においては、A評価70%・B評価27%となっており、児童のほとんどがきまりや約束事を守って生活をしていることがわかる。この気持ちを維持できるよう引き続き、様々な機会を通して教育活動を行っていきたい。
- ⑦ No.16「自分のケータイまたはスマホを持っていますか。」は、全校で「持っている」が児童は昨年とほぼ同じ割合の43%であった。No.17では、持っている児童に対して「ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。」では、「ある」という回答が77%となっている。近年、SNS上のトラブルや事件が多くなってきていることが懸念される。様々な機会を通して注意喚起等を学校でも行っていきたいと思う。また、学校からコンピュータを持ち帰るにあたってのルールも参考にいただき、ケータイやスマホにおいても保護者の管理下に置いて、ルール等を決めていただきたいと思う。

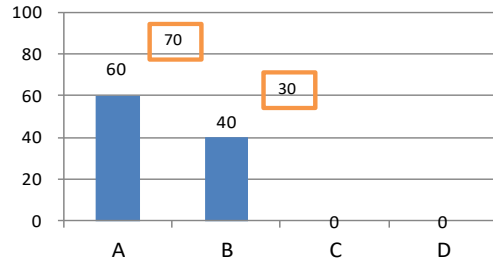
令和4年度 教師の評価集計(前期)

□ は前年度の%

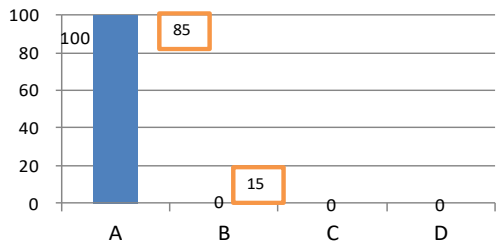
1 学校教育目標・目指す児童像・校訓を意識して、教育活動を進めている。



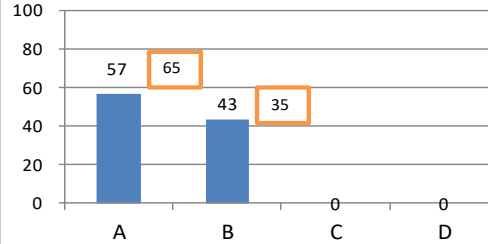
2 マネジメントサイクル(PDCA)で、よりよいものに改善を図ろうとしている。



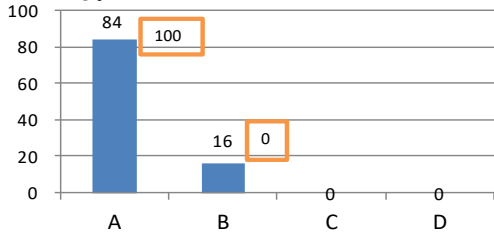
3 他の教職員と連絡調整・コミュニケーションを図りながら(組織的・協働的に)教育活動にあたっている。



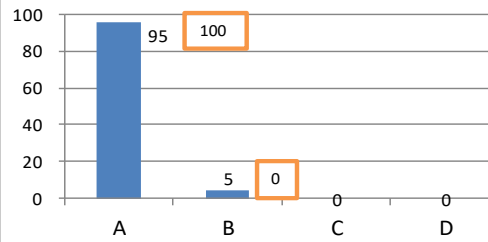
4 学校評価・一校一実践・人事評価制度・校内研・各種研修を通し、自分を磨き専門性を高めようとしている。



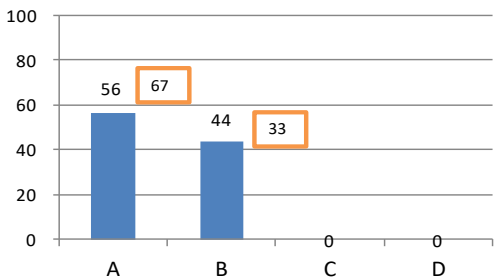
5 危機管理(事故・加害行為・災害・個人情報・網紀保持等)を意識し、教育活動等にあたっている。



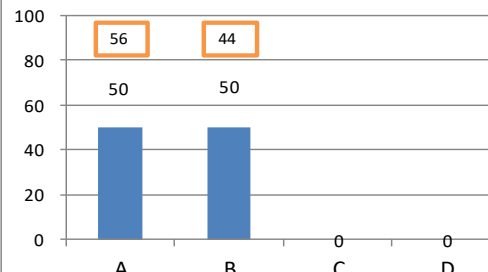
6 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている。

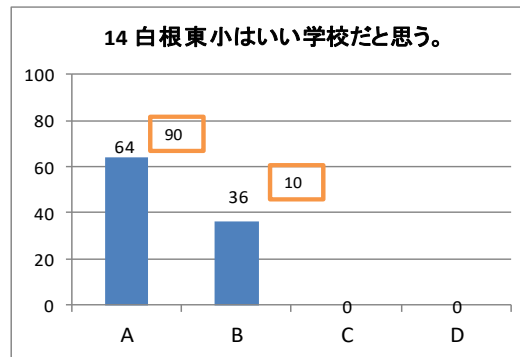
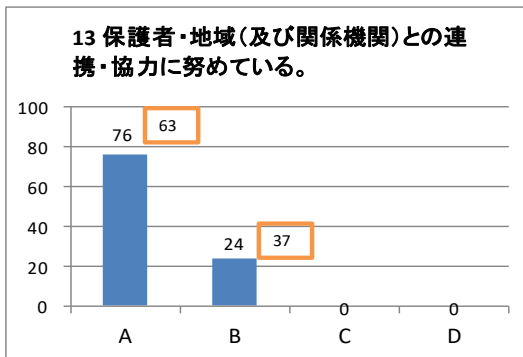
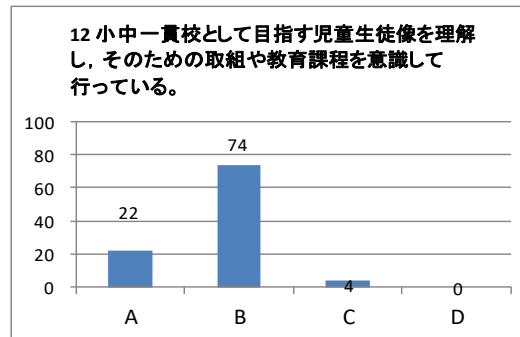
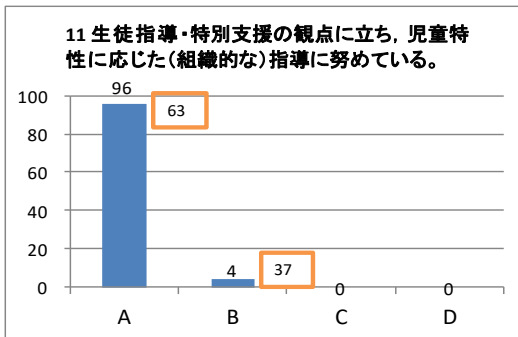
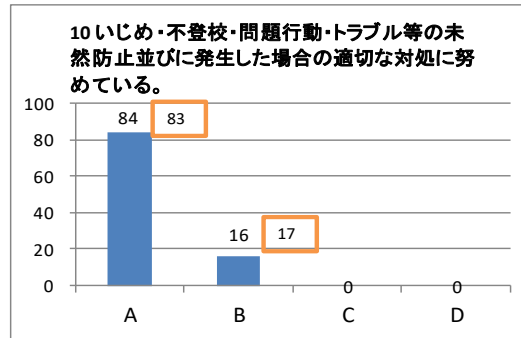
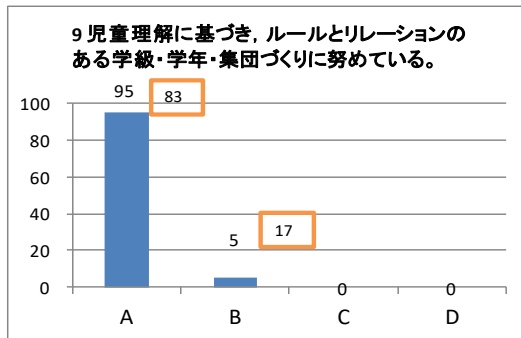


7 「関わりあい高めあう」授業(校内研テーマ)を通して、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている。



8 学校が「きっかけ」をつくり、保護者とも連携し、児童の学習習慣が確立するよう努めている。

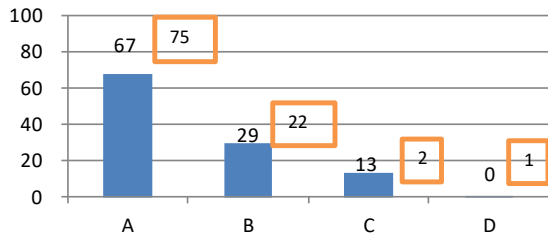




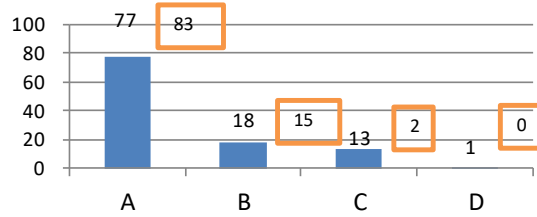
令和4年度児童アンケート集計(前期)

□ は前年度の%

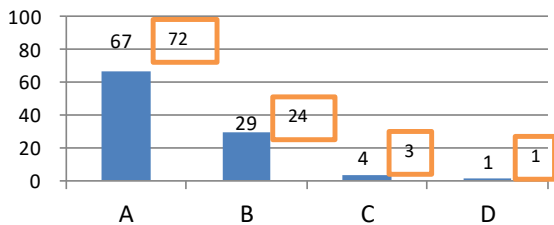
1 いろいろなことに「やる気」をもって取り組んでいますか。



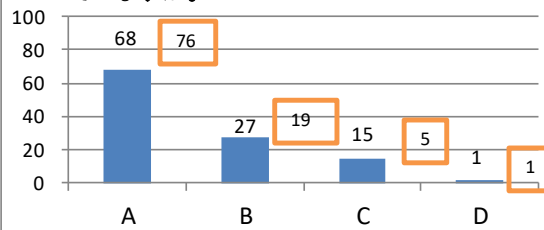
2 いろいろなことに「元気」に取り組んでいますか。



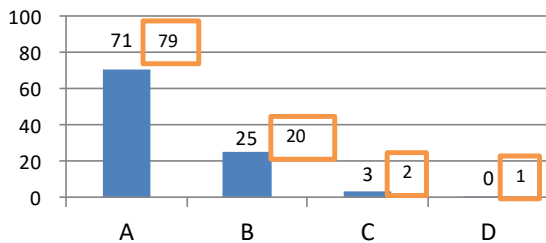
3 いろいろなことに「根気」をもって取り組んでいますか。



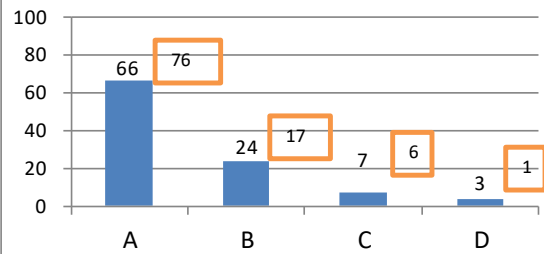
4 いろいろなことに「勇気」をもって取り組んでいますか。



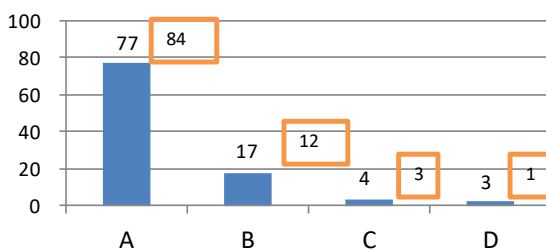
5 「思いやり」の心をもって人やものごとに接していますか。



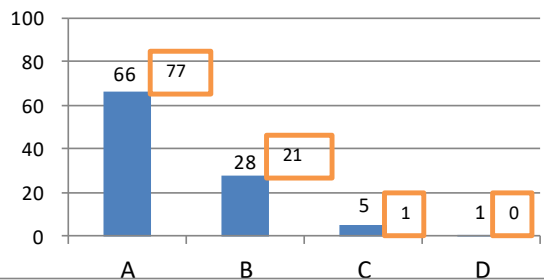
6 学校が楽しいですか。



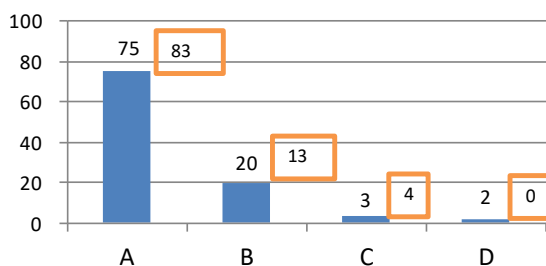
7 分からない時・困ったときに、話しかけられる友達がいますか。



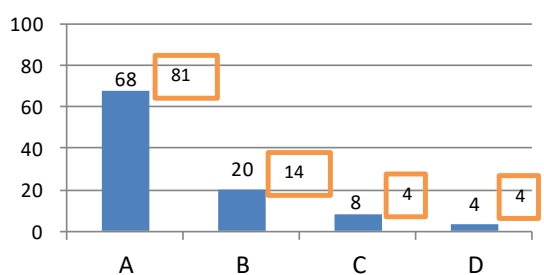
8 授業は、わかりますか。



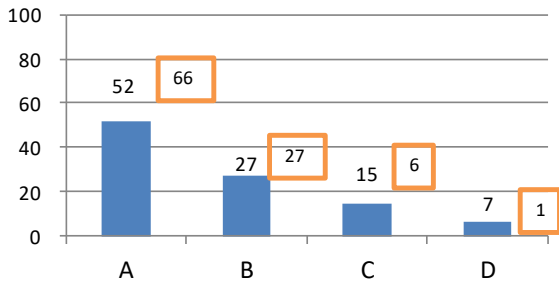
9 分からない時・困ったときに、話しかけられる先生がいますか。



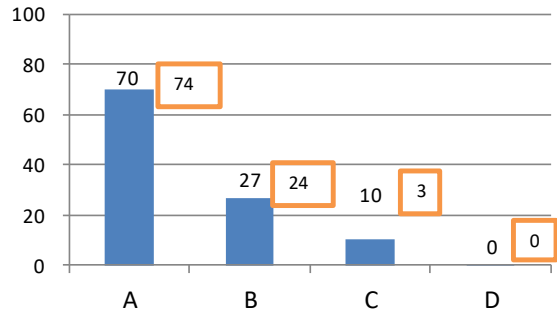
10 授業(勉強)でわからない時には、先生に聞いていますか。



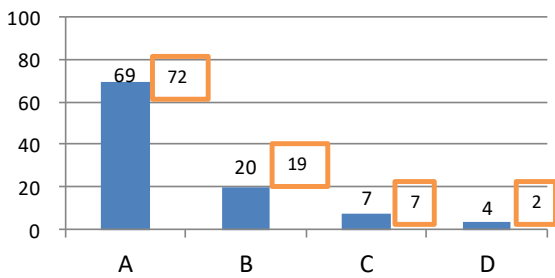
11 授業中に、手をあげたり自分の考えを言ったりしていますか。



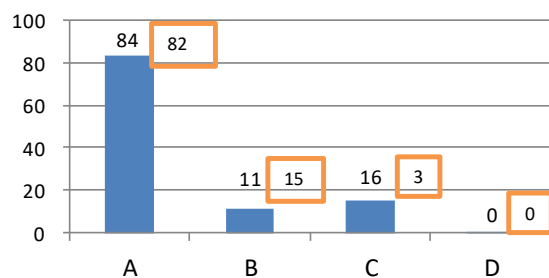
12 学校のきまりや約束事を守っていますか。



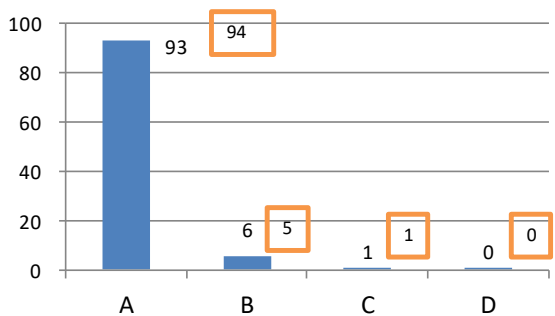
13 学校での様子を、家の人に話していますか。



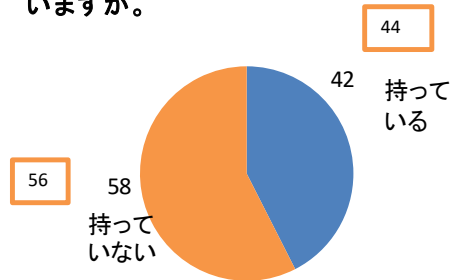
14 家の人に、学校からのたよりなどを渡していますか。



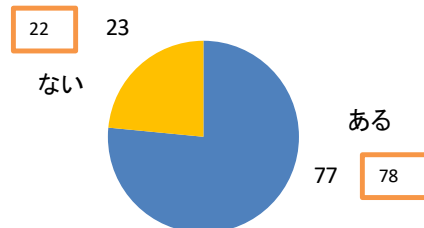
15 朝ごはんを食べて登校していますか。



16 自分のケータイまたはスマホを持っていますか。



17 持っている人だけ→ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。



学校で一番楽しみなこと（前期児童アンケートから）

*数字は回答人数（複数回答者あり）

【1年生】

- ・プール19
- ・休み時間14
- ・体育6
- ・給食6
- ・図工4
- ・折り紙3
- ・算数1
- ・授業1
- ・図書1
- ・運動会1

【2年生】

- ・プール25
- ・図工13
- ・休み時間13
- ・図書11
- ・音楽10
- ・体育9
- ・算数7
- ・国語6
- ・運動会6
- ・給食5
- ・道徳4
- ・学活3
- ・友達と話す3
- ・生活2
- ・道徳2
- ・英語2
- ・授業2
- ・夏休み2
- ・パリソ1
- ・漢字1
- ・社会科見学1

【3年生】

- ・図工8
- ・休み時間8
- ・図書5
- ・友達に会う4
- ・体育4
- ・音楽3
- ・プール3
- ・校外学習2
- ・理科2
- ・給食2
- ・夏休み2
- ・運動会2
- ・算数1
- ・リコーダー1
- ・社会1
- ・友達と取組1
- ・修学旅行1
- ・授業1

【4年生】

- ・友達と話す（遊ぶ）16
- ・休み時間8
- ・体育7
- ・授業6
- ・図工4
- ・給食4
- ・プール4
- ・音楽3
- ・図書2
- ・算数1
- ・理科1
- ・総合1
- ・友達と会う1

【5年生】

- ・休み時間12
- ・体育7
- ・友達と遊ぶ6
- ・友達と話す4
- ・友達に会える3
- ・読書4
- ・英語3
- ・図工2
- ・学活1
- ・児童会活動1
- ・好きな授業1
- ・総合1
- ・クラブ活動1
- ・給食1
- ・運動会1
- ・友達や先生に会う1

【6年生】

- ・友達と話す21
- ・休み時間15
- ・友達と遊ぶ9
- ・プール5
- ・給食4
- ・図工4
- ・体育3
- ・読書3
- ・友達と授業を受ける2
- ・児童会活動2
- ・委員会活動2
- ・英語1
- ・国語1
- ・掃除1
- ・クリスマスセレクト給食1
- ・運動会1
- ・校外学習1
- ・授業1
- ・先生と話す1
- ・理科1
- ・ギネス大会1
- ・レクレーション1
- ・マンガを描くこと1
- ・友達に会うこと1
- ・授業で分からないところを教え合う1